

第5回 栃木県道路施策検討有識者懇談会

議事概要

1 日時

令和7(2025)年3月7日(金) 10:00～11:00

2 場所

栃木県庁昭和館 多目的室4

3 出席者

【委員】

根本敏則 委員(座長)

梅澤啓子 委員、五艘みどり 委員、横山稔 委員、
末武義崇 委員、清木隆文 委員、三田妃路佳 委員

【アドバイザー】

国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所 笹木和彦所長

【県】

県土整備部次長、交通政策課長、道路整備課長、道路保全課長、都市整備課長、道路公社

4 挨拶

(県土整備部次長)

- ・ 今年1月に埼玉県八潮市で道路陥没事故が発生し、大きな社会問題となっているが、改めてインフラの維持管理の重要性について再認識させられたところである。
- ・ 利用者ニーズの多様化やインフラの老朽化など、有料道路を取り巻く環境が変化している中で、産業や観光、我々の生活等に対し、将来にわたって持続的に役割を果たしていく道路とするためにも、まずは安全・安心に利用できる道路としていかななくてはならない。
- ・ 本県としては、本日いただく提言を踏まえ、それぞれの特性に応じた適切な管理・運営に取り組んで参りたいと考えている。

5 議事

(1) 有料道路の今後の管理・運営のあり方に関する提言とりまとめ

【資料1】に基づき事務局から内容を説明し、その後、意見交換を行った。

(末武委員)

- ・ さつきロード(宇都宮鹿沼道路)については、交通量が伸び悩んでおり、無料化により当初見込んでいた利用状況になると期待している。無料化後の利用状況については県でチェックしていくことも必要だと思う。
- ・ 日光道(日光宇都宮道路)については、償還金残額の問題が残っているが、まずは今回の提言の内容を実行しなければ前向きな方向に進めないため、現状では良い結論に

なったと思う。

- ・ 日光道（日光宇都宮道路）は、料金改定を検討することとしたが、今回の料金改定だけで将来までの課題が全て解決するものではないため、物価上昇の動向及び耐震化・老朽化対策の費用や実施時期などを今後とも注視していく必要があると思う。

（笹木アドバイザー）

- ・ 今年１月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故は、インフラの予防保全への移行段階で起き、本格的なメンテナンスの体制構築のきっかけになった笹子トンネルの事故よりも事態は深刻である。今後、さらにインフラの老朽化問題が顕在化してくると想定され、道路管理者の責任・責務はより一層重くなっている。
- ・ 有料道路の管理運営のあり方を考える際もその点をしっかり再認識し、安全を最優先に引き続き検討していかなければならない。

（根本委員（座長））

- ・ 日光道は料金改定と料金徴収期間延伸、一方、さつきロードは無料化との提言としたが、県民にとっては少し分かりにくいかもしれない。道路は有料か無料かどちらが良いというものではなく、県民負担がなるべく少なくなるように、それぞれの特性に応じてケースバイケースで考えるべきであるため、県の役割として、県民に対し分かりやすく説明できるようにして欲しい。
- ・ この度は有意義な提言がまとまりうれしく思う。

（２）その他

（交通政策課長）

- ・ 事務局からは特段なし

6 提言書手交

7 謝辞

（県土整備部次長）

- ・ 令和５年１０月の第２回から本日までの計４回にわたり、各分野の専門的な御立場から忌憚のない御意見をいただきまして、改めて御礼申し上げます。
- ・ 今後は、本日いただきました提言を踏まえ、速やかな方針決定に向け、国と協議を進めて参ります。
- ・ 先ほど御意見をいただいた社会経済情勢や予防保全の観点も踏まえ、有料道路の適切な管理・運営に取り組んで参りたいと思いますので、引き続き御指導いただきますようお願いいたします。